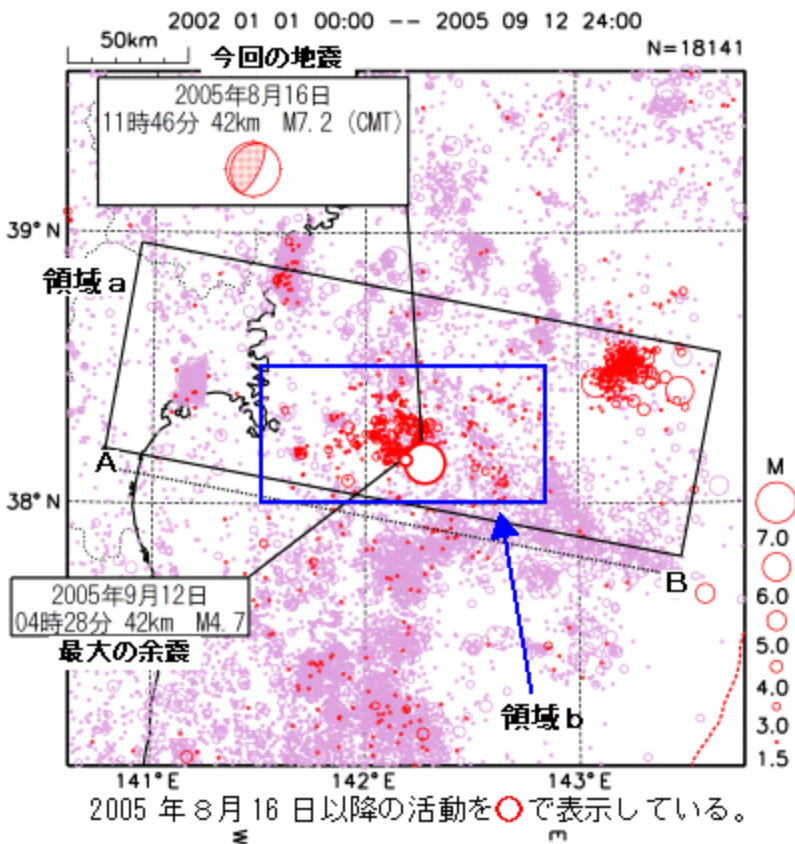


8月16日 宮城県沖の地震

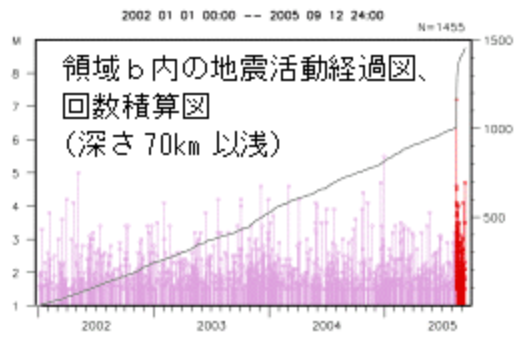
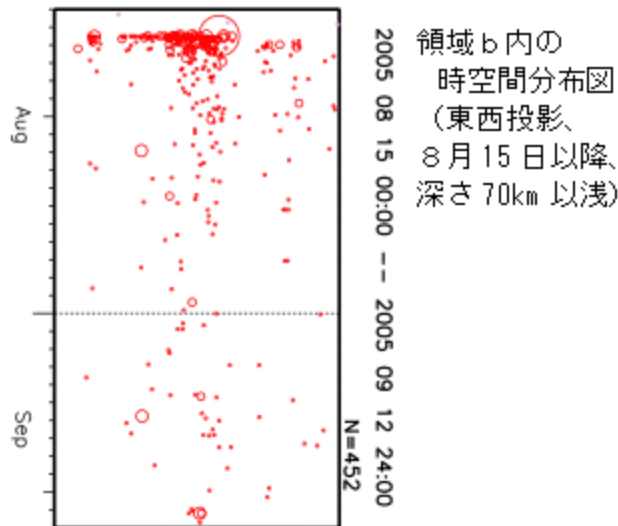
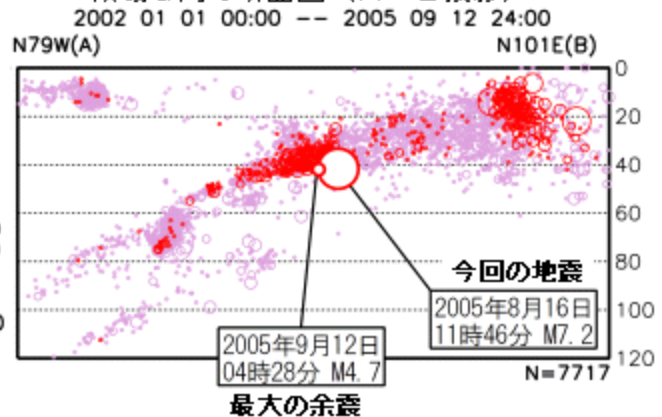
A 震央分布図 (2002年以降、 $M \geq 1.5$)



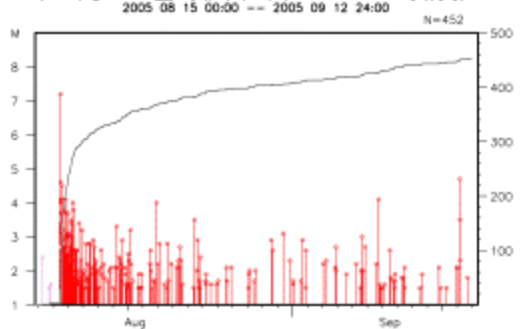
2005年8月16日11時46分に宮城県沖の深さ42kmでM7.2(最大震度6弱)の地震が発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

余震活動は次第に減衰しているが、24日頃からは余震域から東北東に約100km離れた場所で活動が活発化した。また、9月12日にはこれまでの最大となるM4.7(最大震度2)の余震が発生している (A)

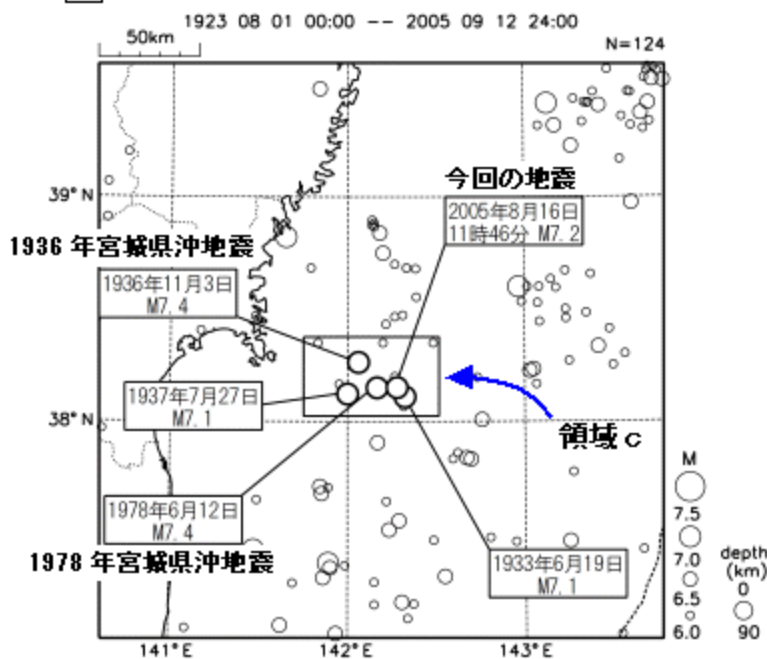
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内の地震活動経過図、回数積算図 (8月15日以降、深さ70km以浅)



B 震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 6.0$)



今回の地震の震源付近では1936年および1978年宮城県沖地震が発生している。(B)

